

2025年

7/27 (日) 13:00-16:30 (受付開始12:30)

入場無料・要申込み (定員100名)

浅草橋ヒューリックホール&カンファレンス 3階・Room 1

東京都台東区浅草橋1-22-16ヒューリック浅草橋ビル

立ち直り支援においては、「支援」という非対等な関係では、本人が抱える「生きづらさ」を聴くことや知ることは、実は困難です。支援者という立場から一歩離れ、本人の「生きなおし」の場に(たまたま)居合わせた同じ「生きづらさ」を抱える同行者として、「生きなおし」の道程を共に歩む時、そこには「生きづらさ」からの解放と新たな「生きがい」が生じます。そのような関係性の中で、支援者とされる者が、それぞれの課題解消の「仲介者」や「応援者」へと変質し、各々がウェルビーイング(生きがいと、生きなおす)の担い手となります。この「生きなおし」を実現するためには、そのような関係性が構築される場(空間・時間)と、その担い手(人間・仲間)が必要とされます。この新たな「生きなおし」の関係は、従来の支援者中心の立ち直り「支援」が、当事者中心の生きなおしへの「応援」へと転換し、その活動は社会全体へのウェルビーイングを中心とした応援の輪へとさらに広がってまいります。このシンポジウムでは各々の立場から、これまでの実践をお話しいただきます。

プログラム

13:00 基調講演(予定)

講師：法務省矯正局長 小山定明氏

13:50 休憩

14:00 パネルディスカッション

テーマ 「支援者からメディエーター(仲介者)へ」

パネラー：西田利昭氏(奈良県地域生活定着支援センター長)

緒方伸子氏(北新地クリニック放火事件被害者家族)

伊藤宏基・泉圭介(ワンネス財団共同代表)

コーディネーター：中島学(福山大学教授 ワンネス財団顧問)

対象

司法、矯正、更生保護、福祉関係者を中心に、生きなおしの応援に関心をお持ちの方

申し込み方法

申込みフォーム(右のQRコードを読み込み)してお申し込みください



主催・お問い合わせ



ワンネス財団

生きがいを応援して20周年

ワンネス財団奈良本部(月~金10時から17時)

0745-24-7766

創立20周年記念

ワンネス財団ウェルビーイング・シンポジウム/東京

新たな立ち直り支援への眺望

生きがいと、生きなおす



- ・JR総武線「浅草橋駅(西口)」より徒歩1分
- ・都営浅草線「浅草橋駅(A3出口)」より徒歩2分
- ・JR京浜東北線・山手線「秋葉原駅(昭和通り口)」より徒歩10分
- ・東京メトロ「秋葉原駅」より徒歩10分

～家族の会～

ワンネスファミリーグループ 東京



心身の回復とウェルビーイングを生き直しを

ワンネス財団
THE ONENESS FOUNDATION

家族のための安心できる学びと交流の場。

悩みを話し合い、経験を語り合いながら、生きがいを育むきっかけをつくり
ます。施設利用の有無にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。

日時

毎月 第1土曜日 13:30～15:30

※ 初めて参加される方は、始めに会の趣旨などを説明させていただきますので、開催時間にお越し下さい。

会場 ※月によって会場が変わりますのでご確認の上ご来場ください。

■ 8/2・9/6

武蔵野公会堂 〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町1-6-22

■ 7/5・10/4

北とぴあ 〒114-8503 東京都北区王子1丁目11-1

※ 予約不要・参加費無料

主な対象者

- ・触法行為、非行、依存症、ひきこもりなどで悩みを抱えているご家族
- ・生きづらさを抱えているご家族

※オンライン開催も実施しています。(会場開催とは日程が異なります)

詳細は右のQRコードからご確認ください。

家族会に参加して得られる7つのイイこと／

1. 自分と同じような悩みを抱えている人に会える
2. 話を聞いてもらえ、他の家族の話を聞くことができる
3. 触法行為や依存症などの背景を学ぶことができる
4. 当事者との関わりに必要なことが分かる
5. 当事者の話を聞くことができる
6. 仲間ができて孤独じゃなくなる
7. 元気になる！



■ お問い合わせ

ワンネス財団相談ダイヤル

☎ 0120-111-351

電話受付時間 月～金 10:00～17:00

ファミリーグループの
最新情報はこちら



生きがいをもちた 生きなおしの応援

私たちワンネス財団は、罪に問われた者、非行少年、ひきこもりや依存症者、そして家族の皆さまが「生きがいをもちて生きなおす」ことを応援しています。2005年に奈良県で活動を開始し、2013年には沖縄県で初の施設を開設。現在は、奈良と沖縄を中心に障害福祉サービス事業所や法務省保護観察所登録自立準備ホーム等を運営しています。各施設には全国から利用者が訪れ、これまでのべ1,400名を超える人たちの応援を行ってきました。

また、自治体からの受託事業、農園事業、馬場運営事業、訪問看護事業を実施。さらに全国からの相談対応、各種団体や学校での講演・セミナー開催などを通じて、地域の生きがいにづくりに貢献しています。活動のキーワードは「ウェルビーイング」。こころ・からだ・つながりを良好にし、単に再犯や再依存を防ぐだけではなく、その人が自身の幸せを育んでいくことまでを応援します。

奈良、沖縄の各施設では様々なカリキュラムや生活支援を通じて個々の幸せを育むサポートを展開。生きなおした人が施設から地域に定着し、社会貢献し、犯罪や依存が減る社会を目指して、これからもウェルビーイングな生きなおしを発信していきます。

ワンネス財団は、マイナスをゼロにするだけでなく、ゼロからプラスへと向かう人材育成を目指しています。セラピューティックコミュニティ（TC）で心理的安全性を確保し、仲間を尊重し応援し合う環境を作ります。

また、ポジティブ心理学や自然のなかでのアクティビティ、アート、農業、ホースセラピーを通じて自己と向き合い、人との絆を深めます。自分の強みを見つけ、ワクワクする感覚を大切にしたいカリキュラムを提供しています。



回復から成長、生き甲斐へと繋がる施設カリキュラムの流れ

01. 回復

回復し、強みに気付く

休息し、回復する。自身の声に耳を傾ける。強みの棚卸しをする。

02. トレーニング

社会性/対話力を身につける

ソーシャル・コミュニケーションスキルを身につける。リレーションシップを感じる。強みを知り、磨いてみる。

03. 実践・インターン

強みを行動に移す

企業や連携したプログラムを通じて社会の中で、強みを活かす感覚を知る。多様な生き方に触れる。

04. 面接・就労

行動と社会を繋げる

強みを活かし、社会の中でパーパスを実現する。生き甲斐に気付く。